

地域医療連携だより

かまんざ



副院長就任の
ご挨拶

- ② 副院長就任のご挨拶
副院長 第1消化器内科部長 宇野 耕治
- ③ 令和7年度 第2回 かまんざ症例検討会の開催報告
- ④ ⑤ Red Crossニュース スクラムを組む医療従事者たちVol.13 産婦人科特集
睡眠時無呼吸症候群外来のお知らせ
- ⑥ トピックス、お知らせ

当日紹介・予約・診療に関するお問い合わせ

地域医療連携係 TEL 075-212-6186

平日 8:30~19:30
土曜日 9:00~13:00

内視鏡センター Endoscopy Center

副院長

第1消化器内科部長

うの こうじ
宇野 耕治



関係者以外
立入禁止
AED

このたび、2026年4月より副院長を拝命いたしました消化器内科部長の宇野耕治と申します。

2012年から消化器内科部長を担当し、消化器内科では膵がんをはじめとしたがんの早期診断、消化管・胆膵疾患に対する内視鏡検査・治療、がん・肝疾患・炎症性腸疾患に対する適正な薬物療法の実施に努めてまいりました。地域の医療機関の先生方におかれましては、平素より消化器疾患症例のご紹介および当科精査加療後の症例を受け入れていただき誠にありがとうございます。

2025年4月からは院長補佐を拝命し、がん診療推進室長も担当しておりますが、当院は高度救命救急センター併設で救急症例の積極的な受け入れを行っているほか、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療が当院における一つの診療の柱となっております。今後もがん診療の環境整備、情報発信に努め、医療従事者向け研修会の開催も継続してまいりますので、地域の先生方にも引き続きご参加いただければ幸いです。

当院は地域医療支援病院として、地域の先生方からのご紹介を迅速に受け入れ、情報を共有した上での適切な時期にフォ

ローをお願いしております。

地域の患者さんを、地域の先生方とともに診療させていただく協力体制の構築が非常に重要でございます。今後も病診連携の推進をはじめとした当院の諸課題に対して取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続きご指導・ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

資格

- 日本消化器病学会評議員・指導医・専門医
- 日本消化器内視鏡学会評議員・指導医・専門医
- 日本超音波医学会指導医・専門医
- 日本膵臓学会認定指導医
- 日本内科学会指導医・総合内科専門医
- 京都府立医科大学臨床教授

専門分野

- 消化器内科
- 消化器内視鏡
特に胆膵

2月7日、京都ブライトンホテルにおいて「令和7年度 第2回 かまんざ症例検討会」を開催いたしました。当院の全診療科合同で行う2回目の症例検討会ですが、これまで各診療科で行ってきた症例検討会と同じく、今回から“かまんざ”を冠することとしました。今回も多くの連携医療機関の先生方にご出席いただき、活発な議論に参加していただきましたことに深く御礼申し上げます。

このたびのプログラムは、前半2演題は若手医師が、後半2演題は診療部長が演者となり、日常診療から専門性の高い診療まで幅広い内容を症例報告形式で発表いたしました。



症例①「十二指腸狭窄の一例」

消化器内科 佐伯 洋輔

症例②「頸椎症によるめまいの一例」

脳神経内科 西田 有騎

症例③「遊離皮弁再建を行った下肢皮膚軟部組織欠損創の一例」

形成外科部長 恋水 諄源

症例④「突如の発熱・せん妄・頭頂部痛を呈した12歳男児例」

小児科部長 加納 原

①は、十二指腸狭窄による腹部膨満感と嘔吐に対して消化器内科を紹介受診した70代女性です。内視鏡的バルーン拡張術後も経過不良であり、追加精査によって神経内分泌腫瘍の特徴を有する**十二指腸がん**と診断後、臍頭十二指腸切除術が行われました。

②は、頸部左回旋時に誘発される左耳鳴とめまいを主訴に脳神経内科を紹介受診した80代女性です。変形した頸椎による左椎骨動脈が圧迫され、脳血管撮影で頸部左回旋により狭窄が増悪することから頸椎症による**椎骨脳底動脈循環不全**と診断しました。①、②ともに症状の経過、画像所見、鑑別診断に

ついて多数の質問やコメントがあり、議論が盛り上がりました。

③は、足関節背側の開放骨折・動脈損傷を伴う重度外傷に対して遊離皮弁を用いて再建を行った60代男性の症例報告です。難易度が高いとされる**下腿遠位1/3の皮膚軟部組織欠損に対する高度な手術**が紹介されました。恋水医師からは、手術の成功には整形外科と形成外科の連携が重要であることが強調されました。

④は、**劇症型溶連菌感染症**の症例であり、小児科に紹介受診後から時間単位で症状が悪化した経過が提示され、早期の適切な治療により救命できたことが報告されました。加納医師の発表では、**ありふれた症候にも致死性の疾患が潜んでいることや、急性疾患では初期対応が重要である**ことは、小児診療に限らず成人診療にも通じるというメッセージが伝えられました。

終了後の懇親会でも多くの先生方と直接意見を交わすことができ、非常に有意義な時間となりました。次年度も引き続き、年2回のかまんざ症例検討会の開催を予定しておりますので、多数の先生方にご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



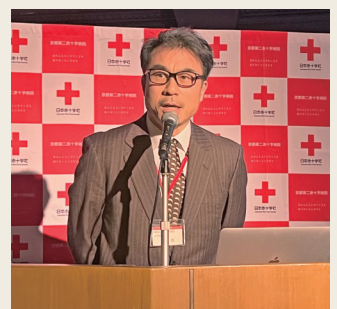
消化器内科 佐伯 洋輔



脳神経内科 西田 有騎



形成外科部長 恋水 諄源



小児科部長 加納 原



産婦人科チーム

産婦人科では思春期から成人期、更年期、老年期まで、あらゆる年代の女性の治療を行っています。

産婦人科は2026年4月より常勤医師7名体制で診療しております。

当科では良性疾患(子宮筋腫・卵巣嚢腫など)や悪性疾患(子宮頸がん・体がん・卵巣がんなど)に対し、手術治療のほか薬物治療・化学療法やホルモン療法、放射線療法など他診療科と連携した集学的治療を行っています。良性疾患では鏡視下手術を第一選択としており、2025年1月からは手術支援ロボット(ダヴィンチXi・ダヴィンチ5)も導入し、より幅広い治療の選択肢を提供しています。ロボット支援下手術では良性疾患に対する子宮全摘術、骨盤臓器脱に対する仙骨腔固定術、早期子宮体がんに対する子宮悪性腫瘍手術を保険診療で実施しています。従来の腹腔鏡手術と比べ、3D画像および鉗子の可動域拡大と操作性向上によりスムーズかつ精密な手術操作が可能です。導入から2025年度末までロボット支援下手術の件数は37例となっており、適応症例も増加中です。2025年度の主な手術実績は腹腔鏡手術212

例(うち子宮鏡手術1例)、悪性腫瘍手術30例です。当科の手術症例は地域の先生方からご紹介いただいた患者さんが多くを占めています。今後も手術が必要な症例がありましたらぜひお申し付けください。

産科・周産期領域では当院の高度救命救急センターと連携し妊産婦さんの急性疾患に対応しています。合併疾患のある妊産婦さんに対しては関連診療科が協同で出産まで支援いたします。なお2026年度からプレコンセプション外来を開始予定です。基礎疾患のある女性が妊娠・出産をお考えの際に、関連診療科および助産師、薬剤師などメディカルも含む専門チームがご相談に応じます。

当科では思春期・若年期の月経のトラブルや更年期・老年期の心身のケアまで、女性特有の健康問題に関するさまざまなニーズに対応しております。お困りの症例がございましたらいつでもご相談ください。これからも地域の先生方とともに良好な関係を築いていけるよう一同努めてまいります。

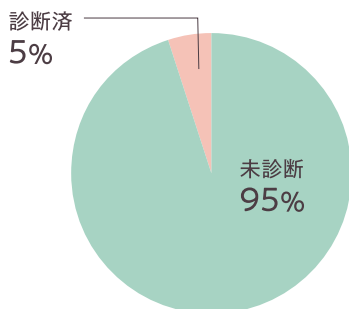
睡眠時無呼吸症候群外来のお知らせ

呼吸器内科部長 塩津 伸介

睡眠時無呼吸症候群(SAS)は、睡眠中の反復する無呼吸・低呼吸により低酸素血症や交感神経亢進を引き起こし、心血管疾患、脳血管障害、代謝異常の増悪に関与することが明らかになっています。無呼吸低呼吸指数(AHI)が20回/時以上の方は、そうでない方と比較して、明らかに生命予後が悪いことが知られています。

国内では中等症以上の閉塞性SAS(OSA)患者さんが約900万人と推計される一方、治療介入を受けているのは約50万人にとどまり、**推定患者の約95%が未診断のまま潜在している**と推定されています。さらに、OSA患者さんの約4割は非肥満で、日中傾眠を自覚しない例も多く、臨床現場で見逃されやすい点が問題です。

◆国内の中等症以上の閉塞性SAS(OSA)患者 ※900万人推計



呼吸器内科では、SAS疑い患者さんの精密評価を積極的に受け入れています。確定診断のゴールドスタンダードである終夜睡眠ポリグラフ検査(PSG)を入院下で実施し、脳波・呼吸努力・気流・酸素飽和度・心電図など多項目を同時記録することで、重症度分類に加え、病態生理の詳細な把握が可能です。外来簡易検査では評価が困難な中枢性無呼吸、睡眠段階異常、PLMSなども精密に解析できます。

外来出番表

担当医	月	火	水	木	金
	隈	塩津	野口	笹倉	山本



これまでSAS紹介窓口は循環器内科・耳鼻咽喉科・呼吸器内科の3科に分散していましたが、診療の一貫性と迅速な対応を目的に、紹介窓口を呼吸器内科に一本化しました。中枢性無呼吸や外科的治療介入が必要な症例については、総合病院としての強みを生かし、循環器内科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・脳神経内科など各科と連携して対応します。

治療導入後、症状が安定し長期フォローが可能となった患者さんについては、主治医の先生方への逆紹介、継続診療をお願いしたいと考えています。また、急性期病院として精密検査と初期治療を担い、その後は地域での安定フォローへつなぐことで、患者さんと医療機関にとって適切な診療体制が構築できればと考えています。

SASは適切な治療により心血管イベントの抑制、生活の質の改善、交通事故リスク低減など多くの臨床的利益が期待できます。

対象となる患者さんがいらっしゃいましたら、呼吸器内科の初診外来へご紹介いただければ幸いです。





ホームページをリニューアルしました

このたび、当院のホームページをリニューアルいたしました。より快適にホームページを閲覧いただけるよう、ページ構成ならびにサイトデザインの見直しを実施いたしました。今後も皆さまにとって役立つ情報を分かりやすくお伝えできるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医療関係者の方は「地域医療連携」から



紹介患者さんWeb予約 ～SAKU洛連携～

歯科口腔外科・RI検査 (脳血流 IMP、DAT、パーキンソンMIBG) の運用を開始しました

※CT検査、骨密度検査、RI検査につきましてはweb予約期限を短縮しました。



お知らせ

◆ 第37回 病病・病診連携懇話会開催のお知らせ

今年度の病病・病診連携懇話会を下記日程で開催しますのでご参加をお待ちしております。詳細は追って案内しますのでご確認ください。

日時 2026年7月16日(木) 15:00～懇話会 17:30～懇親会
場所 ホテルオークラ京都



地域医療連携だより
かまんざ

vol.23 2026.5

+ 京都第二赤十字病院 地域医療連携・入退院支援室

〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355番地の5

TEL 075-212-6186

FAX 075-212-6358

WEB <https://www.kyoto2.jrc.or.jp>